

# 検討すべき課題

令和5年8月24日

# 検討すべき課題(検討結果報告書に基づく整理)

## 令和5年度に結論

- 研修の実施・運営に係る事項の検討
- 配置促進策(当面の配置先(国及び地方公共団体)、研修費用の支援等)の検討
- カリキュラム等の策定

## 令和5年度以降継続して検討

- 専門性に見合う評価、待遇が受けられるようにするための改善方策の検討
- 専門性の高い支援人材の認証制度の在り方に関する調査等の検討
- 外国人の受入れ環境改善に向けた方策の検討
- 事例研究会等の開催

## 令和6年度以降に検討

- 研修の内容や方法等の評価と必要に応じた見直し
- 講師の確保状況を踏まえた研修対象者、研修規模及び配置先の拡大

# 検討すべき課題(検討事項の役割分担)

## 研修カリキュラム等策定会議 (本会議)

- ▷カリキュラム等の策定
  - ・カリキュラム、シラバス
- ⇒学習目標(認定方針を含む。)、科目、各科目の時間数、教育方法、評価方法、科目毎に定めるべき事項(学習内容、到達目標、評価基準、使用する教材、想定される講師他)等
- ・テキスト等
- ⇒科目の概要、支援方法、連携先等
- ・指導要領(講義の実施要領)
- ⇒養成研修の意義、内容、評価基準、留意事項
- ・講師の事前研修に係る検討

## 養成の在り方等に関する検討会 (別途開催)

- ▷研修の実施・運営に係る事項の検討  
研修目的、研修対象者・定員、研修のねらい、実施形式、修了者の呼称、実施主体、講師の確保、開催時期・場所、受講費用、認証の方法、減免措置、応募方法、ポータルサイトの開設・活用 等
- ▷配置促進策の検討
- ▷令和5年度以降継続して検討すべき事項の検討

- 検討結果報告書に基づき、養成研修のカリキュラム等を検討・策定する。
- 本会議では、まず、カリキュラム等の記載事項や内容等について検討を行い、骨子を決定した上で、骨子に基づいて作成作業を進めることとする。
- 第1回会議(今回)においては、カリキュラム、シラバス、テキスト、指導要領、講師の事前研修実施マニュアル等の策定に当たっての基本的な考え方等について検討する。